

## 利根町小学校統合に関する意見交換会（概要）

1. 日 時 令和2年7月5日（日）午前10時00分～午後0時12分

2. 場 所 文小学校 体育館

3. 出席者

（1）町民等参加者 19名

（2）利根町教育委員会

教育長	海老澤 勤	教育委員	武谷 昭子
学校教育課長	青木 正道	指導室長	池田 恭
課長補佐	河村 明	課長補佐	宮本 正裕
課長補佐	布袋 哲朗	主 任	吉田 慎太郎

4. 次 第

（1）開 会

（2）教育長挨拶

（3）意見交換

ア 利根町小学校統合基本方針説明

イ 質疑・応答等

ウ その他

（4）閉 会

5. 議 事

1. 開 会

○事務局 ただいまより、利根町小学校統合意見交換会を開会いたします。

2. 教育長挨拶

○教育長 おはようございます。教育長の海老澤と申します。

現在、利根町では少子化に伴い、町内小学校3校を1校に統合する計画を進めております。これは、少子化による児童数減少により発生するであろう様々な課題に対応するために適正規模の学校づくりを進めていこうとするものでございます。

利根町では、2年前の平成30年1月に「利根町小中学校適正配置等調査検討委員会」を立ち上げまして、9回の話し合いをし、その年の10月に委員会の答申をいただきました。その答申では、令和5年度4月を目途に、町内小学校3校を布川小学校に統合するとしての基本方針を提言していただきました。

教育委員会では、その後、アンケートを実施して、675名から返答をいただき、その結果をまとめてございます。また、複数回の教育委員会、町長部局との協議の場である総合教育会議という会議がございしますが、これを複数回開催し、さらに、約1か月間のパブリックコメントで皆様のご意見を募集しまして、小学校統合基本方針の修正を行っております。また、町の議員さん全参加による説明会もございました。

このように、アンケート結果、パブリックコメント、総合教育会議などの経緯から、ほぼ検討委員会答申を尊重するに至った次第です。

その後、令和2年3月に「小学校統合基本方針」がまとめられ、公表するに至った次第であります。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、2か月ほど予定がずれて、今日、統合に関する意見交換会を始めることができました。今後、各小学校区において、保護者さん、地域の方々にご理解をいただき、これからの小学校統合計画を進めていきたいということで、この会を設けさせていただきました。

学校の存在は、子ども達、保護者だけの問題ではなく、地域全体での大きな問題でもございます。是非、関心を持っていただいて、保護者、住民の方々の意見をできる限り取り入れられればと考えております。説明の後、質疑の時間もございます。忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3. 出席者紹介

○事務局　　ここで、本日出席しています教育委員及び町職員を紹介します。  
（教育委員及び町職員の紹介あり）

### 4. 基本方針説明

○事務局　　本日の議事では、まず、「利根町小学校統合基本方針」をご説明いたします。説明後に、質疑・応答、また意見交換を行います。

統合校となる小学校施設が、より良い学校環境を確保できるよう、ご参加の保護者の皆様、地域の皆様からご意見等を広く収集することで統合に向けての課題を把握し、整備充実を図ってまいりたいと考えております。

それではこれより、次第3、意見交換等に入ります。  
(事務局より「小学校統合基本方針」について説明あり)

## 5. 質疑・応答及び意見交換

○事務局 説明が終わりました。ただいまの利根町小学校統合基本方針の説明、また、この他ご質問等がある方は挙手でお願いいたします。  
(主な質問と回答及び意見に絞り掲載、また、類似の質問は集約して掲載。)

○参加者 小学校5校を3校にした当時、PTAで活動していたが、無くなる小学校の地区の方の無念や悔しいという思いを非常に強く感じた。

まず、このような町の重要な話をする場に町長や議員が出席していないのはおかしいのではないか。

また、果たして令和5年度までに新型コロナウイルスに対するワクチンが全国に行き渡り、インフルエンザの予防接種のように、生徒に新型コロナウイルスの予防接種をしてあげられるだけの状況が作れているのかどうか非常に心配である。ワクチンができるまで5年から7年かかると言われている。

今の時点で統合を決定するのは時期尚早ではないのか。今すぐ2年後、3年後に統合するというのではなく、世界や日本の新型コロナウイルスに関する最新の状況を見ながら進めていった方がよいのではないか。今、統合して密な状況を作る必要はないのではないか。

文小学校が複式学級になる恐れがあるのであれば、統合するのではなく、複式学級にしないため人を増やす施策をとるべきではないのか。子育ての町と謳<sup>うた</sup>っているのであれば、子ども達が利根町に戻ってきて子育てをしたいと思うようにしてほしい。

町長や議員にしっかりと伝えて欲しい。

○事務局 町内小学校を5校から3校に統合した当時、東文間小学校は実際に複式学級になっておりました。複式学級とは実際にどういった状況かというのを他の市町村に見に行ったところ、ふたつの学

年が背中合わせに机が並び、ひとつの学年は前の黒板を使い、もうひとつの学年は後ろの黒板を使って、先生は一人でふたつの学年の授業をする、体育・音楽・図工などはふたつの学年と一緒に授業をするというような状況でした。

一人でふたつの学年の学習にあたるというのは、やはり大変なことであるし、このような状況を一日も早く改善しなければならぬということ、当時は東文間小学校を文間小学校へ統合しました。

また、ある学年では男の子が一人でした。水泳学習の時に着替えをすると、女子は教室で着替え、男子はプールの更衣室を使うというような状況があり、当時は学習にいろいろな影響があったろうと思います。

ご意見にあったように、子育ての町を謳<sup>うた</sup>うのであれば、もっと外から住民を呼び込んで、子育てに住みやすいまちづくりをするべきではないかというご意見はごもっともです。

今の利根町の状況を踏まえると、やはり複式学級は大きな壁でありハードルであると、その点を何もせずに行くということはどうなのかというところがございます。

また、安全で安心な学校という点で、2学級あれば、誰と誰が仲が悪い、どうしてもウマの合わない子どもがいる、といった、子ども同士の友人関係、人間関係を考えたときに、次の学年では、別のクラスにするといったような配慮もできるのではないかと、逃げ場としての、居場所としての2学級ができるのではないかと、思います。

町長、町当局、議員がいらないではないかというお話ですが、説明にもあったように、町当局と教育委員会の協議の場である総合教育会議にて統合に関する計画について協議し、町の了解をもって公開したところと、また、議会の全員協議会、厚生文教常任委員会においても説明をしてきております。

おっしゃる通り、人口減に対する町の対応が遅いので子育て環境、子ども達が増えないのではないかというお話はごもっともだと思います。また、若い方が利根町に残って利根町で子育てをしていきたいと思える環境を作るのが町の仕事だと思うのですが、現在その点が思うように人口が増えてこない、そして、このまま行きますと、児童生徒数の減少がかなり見込めるということから、今回の計画を作ったわけでございます。

ご指摘のとおり、新型コロナウイルスに関する薬やワクチンの開発については、今回の計画の中では検討事項としては入っておりません。その点は、今後どうなるのかということもありますが、今回の計画は、令和5年の4月に向けての計画ということで、本来であれば本日の意見交換会も今年の4月に行う予定でしたが、コロナ禍により本日まで伸びてしまいました。

今後、布川小学校、文間小学校、文化センターで意見交換会を開催し、皆様のご意見をいただいた後に、小学校の統合準備委員会を設立いたしまして、各地区のPTAの代表の方ですとか先生方などに入ってくださいますので、そこでも皆様の意見をいただいて、この計画を進めていきたいと考えておりますが、まるっきりコロナのことを考えていない、密な状況をつくってしまうんじゃないかということに対しましては、町としても検討しながらやっていきたいと考えております。

学校におきましても、分散登校を実施したり、特別教室にエアコンを設置して、教室として使ったりといった対策を実施している状況です。

○参加者 意見交換会とのことだったが、実際は基本方針という決定事項の説明会のように驚いた。

水害の対策について、布川小学校は町のハザードマップにおいて浸水想定3メートル未満の地域だが、災害発生時にどのような対応をとるのか。また、冠水した場合に子ども達をどのように帰すのか、安全に帰すことができるのか。

○事務局 統合するとなった際に気になったのが、町のハザードマップでございます。利根川に最も近い布川小学校で、子ども達の安全をどのように守っていくのか調べてみたことがございます。

昨年の台風19号の時の水位が10月13日で7メートル59センチです。これは、小貝川と利根川の合流地点のすぐ隣にある押付新田の観測所の数値でございます。気になりまして10年間水位をさかのぼって調べたところ、警戒レベル3相当とされている5.75メートルを超えたことが3回ございました。

利根川が氾濫し決壊しないということはありません。いつ起こってもおかしくありません。このような状況にあって、布川小学校の立地は大丈夫なのかと心配されることと思います。

ハザードマップを見ると、布川小学校の辺りは3メートルまで

の水位の上昇があり得ると言われています。布川小学校は周りに比べ一段高いところに建っていますが、一階は危険ですので、子ども達は2階以上に上がる垂直避難となります。また、警戒レベル3という、高齢者や障がいのお持ちの方は避難してくださいというレベルでございますが、そのような警戒情報が出る前に子ども達の安全を図っていきますし、保護者の皆様にはご連絡をしたいと思っております。川の水位というものは刻一刻と変わるものですが、利根川は長く大きく、上流の栗橋観測所であったり、さらに上流の群馬県の方から数時間かけて徐々に水位が上がってくるわけですから、早め早めの対応を考えております。

万が一、利根川が決壊した場合は垂直避難となります。

布川小学校一階の教室の天井の高さは、グラウンドから見て5.8メートルありますので、計算上は2階以上に上がれば子ども達の安全は建物が崩れない限り大丈夫ということになります。

また、町のハザードマップには地震と液状化マップもあります。布川小学校は液状化においても危険なところでもあります。大きな地震があった時には、当然液状化が予想されます。もし、液状化で保護者の方が車で迎えに来れないということであれば、周辺の状況を見て、子どもを校舎内に留めておき、道路の状況が改善されるのを待ちたいと考えています。とにかく子ども優先、いのち優先で避難は考えていきたいと思っております。

○参加者 2校にすれば駐車場の拡張の必要もなくなると思うが、2校とする案は検討委員会の過程の中で議論があったのか。

○事務局 検討委員会を立ち上げた際に、各委員の方から2校とする案も出てきました。当時の児童数グラフを見ますと、人数がどんどん減っていくような状況で、今問題がある文小学校を、布川小学校と文間小学校に分けようという案もありました。しかし、この児童数減少の状況が続きますと、いずれまた統合という話になるということが予想されるため、今回1校にまとめた方が良いという答申をいただきました。検討委員会では、3校を残す、2校とする、また新設校を建てるといったご意見も出ましたが、最終的には1校とするということでまとまったということでございます。

○参加者 資料を見ると、2クラス以上が適正ということで学級数に関する記述があるが、1学級が何人なのかという点は記載がない。

布川小学校において児童が垂直避難した場合、果たして児童全員が何分で2階以上に上られるのか、全員が助かるのにどの程度時間がかかるのか、そのシミュレーションをしているのか。

パブリックコメントについては、布川小学校ありきの内容について、反対意見を出したが、その返答もなかった。

○事務局

1学級あたりの生徒数においては、40人以下（1、2学年について35人以下）が標準人数として定められています。

また、現在のコロナ禍により、学級数を30人学級にして貰いたいなど、都道府県の方から国に要望は出しているが、この点については国の方で決定があれば町としても対応したいと思います。

パブリックコメントでいただいたご意見に対する回答につきましては、町のホームページの方でご回答させていただいております。

水害のシミュレーションにつきましては、洪水による水害の避難計画を町内全小中学校で作成しております。浸水が3メートルの想定ですと、周辺道路はほぼ冠水すると思いますので、保護者の方が迎えにくるのは不可能という想定をしています。

利根川が決壊した場合は3メートルの浸水が想定されますが、昭和56年に小貝川が決壊した際の利根町への浸水の回りからいきますと、東文間地区の惣新田、立崎、加納新田まで水が回るのに2日間かかっております。利根川のどの位置が切れるかということによっても水の量は変わってくるのかと思いますが、布川小学校であれば、土盛りしてる校舎で垂直避難ということですが、細かいシミュレーションについてはしておりませんが、町内全域3メートルの浸水ということであれば垂直避難し、児童は学校で待機するということとなります。

○参加者

布川小学校ありきの統合に感じられ、保護者や子どもの意見も聞いていないように感じる。

布川小学校に統合した場合、子どもの引き渡しはどうするのか。布川小学校の前の道路で火事があった場合、消防車が何台も殺到して道がふさがってしまった過去があるが、子どもの引き渡しは安全に行えるのか。

○事務局

統合の検討委員会を設置した際に学校の代表者やPTAの保護者代表の方に委員として入ってもらい議論していただきました。その中ではまず、子ども達のこれからの学習面を第一にというこ

とで話し合いが進められた経緯がございます。ですので、子ども達のための統合ということで答申をいただき、教育委員会で方針を決定しております。

保護者への引き渡しについてですが、道路の拡幅だったり、駐車場の確保といった整備をさせていただきまして、できるだけスムーズに引き渡しが行えるようなかたちを考えております。また、スクールバスの方も出させていただきますが、バスロータリーとバスの駐車場についても整備したいと考えております。

○参加者 ニュータウンの中田切のような台風の手前の大雨程度で冠水してしまうような地区についてはどのように対策されているのか。

○事務局 該当の道路は県道となっておりますので、町の建設課を通じて改善の要望は出しておりますが、現状は冠水した場合は冠水していない別の道を通ってもらうこととなります。

中田切地区の排水につきましては、町議会でも多くの議員の方からいつになったら冠水がなくなるのかというお話はいただいております。中田切地区の排水は新利根川に抜けるわけですが、大雨が降ると、新利根川の排水水量をオーバーしてしまいます。昨年の大雨の際も、冠水する前に建設課がポンプで水を吸い上げるなどの対策はしているのですが、基本的な排水水量は新利根川の工事が行われないう限り、ある程度現在の状況は続いてしまうのかなと思います。

○参加者 スクールバスは全地区に出すのか、またどのように運行するのか。

○事務局 スクールバスにつきましては、この後、統合準備委員会を立ち上げて、事務局からある程度の案を提示し、委員会で運行ルート等を検討しながら決定していくかたちで考えております。

○参加者 令和5年4月という時期については、再度検討する余地はあるのか。現在のコロナ禍において、各小学校は特別教室などを使って距離をとって授業を行っているが、統合後の布川小学校においてそれが可能なのか。またスクールバスについても密にならないように回っていただくなど、今まで検討してこなかったことを今後検討して、時期を見直すことはできないのか。

○事務局 コロナ対策として、3密にならないような対応が布川小学校に



統合した時にとれるのかということでございますが、人数からいきますと、現状の普通教室と特別教室を使えば、密にならずに授業は行えると考えております。

また、スクールバスにおきましても、基本的には布川地区以外はスクールバスになるかと思っておりますけれども、同様に密にならないように台数を確保して登下校を行いたいと考えております。

時期については、先ほど新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチンが開発されていないという話がありましたが、その辺は十分考慮しながら、また皆様の意見を踏まえながら考えていきたいと思っております。

○参加者 アンケートについて、布川小学校への統合の方針を決める前にアンケートを取ってから話を進めるべきではなかったのか。

○事務局 アンケートを見ますと、肯定的な意見よりも一番多いのはやむを得ないという意見です。このやむを得ないの中には、こころの中では反対なんだけれども、しょうがないんじゃないかといったような思いがあるのではないかなと思っております。また、本日ご参加いただいた皆様の他にも、本当は個人の思いを伝えたいけれども、決定事項であればそこまでは言っても仕方ないといった方々が、沢山いらっしゃるのではないかと、声にならない声を、本日ご出席していただいた皆様のご意見の<sup>かげ</sup>陰に感じました。

今日がスタートでございますので、これからも、布川小学校、文間小学校、文化センターでの意見交換会で、沢山の皆様のご意見をいただいて、統合の検討を進めていきたいと思っております。

## 6. 閉 会

○事務局 本日はお忙しい中、皆様にご出席いただき、貴重なご意見を伺うことができました。お寄せいただいたご意見、ご要望、ご提言は、今後の統合準備委員会等での課題として整理しながら、協議をしていきたいと思っております。また、今後も皆様のご協力のもと、より良い統合に向けて準備してまいります。

それでは、以上をもちまして、利根町小学校統合意見交換会を閉会いたします。(午後0時12分)